

～新しい世紀は制度の枠を越えて「誰もが地域で普通に」暮らせる地域福祉の時代～
「自分らしい・その人らしい地域生活支援」全国推進セミナー
—元気の出る地域生活と元気の出る支援— **開催要綱**

〔第1回目の今回の[セミナー]では、次の4つの柱を明らかにしていきます〕

- ① 子ども・障害者・高齢者の「自分らしい・その人らしい生活」ニーズとは何か、それに応える「子育て・子育て支援」「障害者の自立生活・家族支援」「高齢者の生活・家族介護支援」とは何かを、当事者と実践者と政策者が明らかにしていきます。
- ② 従来の制度の枠を越えて、子どもも障害者も高齢者も、地域でともに普通に暮らすために必要な生活支援サービスの内容と方法を考え合います。
- ③ 子どもも障害者も高齢者もそしてその家族も、ともに元気が出て、潤いのある豊かな生活となる取り組みの視点やあり方を模索していきます。
- ④ 住民が主体的に参加して創る、誰もが地域で「自分らしい・その人らしい」普通の生活がおくれるまちづくりと、これからの地域福祉の方向を、住民組織とその支援組織、地方自治体と国の担当者が話し合います。

1. 目 的

誰もが住み慣れた地域で、「自分らしい・その人らしい」自立した普通の生活をおくりたいと望んでいます。その願いを実現するためには、制度化されたサービスとともに、制度から漏れる、あるいは制度を超えるサービスの創設と提供が求められています。さらには、制度によって分けられ、地域生活からも分離されてきた「子ども・障害者・高齢者」が、ともに地域で暮らすために必要なサービスの開発と施策化も求められてきました。

こうした制度を上回るニーズに応え、制度の隙間を埋めるサービスを提供する先駆的な取り組みが近年、当事者やボランティア、NPO団体によって試みられ、地方自治体の支援を得、協働しながら、全国各地に広がっています。

折しも社会福祉制度の改革期の真っ只中にあり、介護保険法に加え、6月には社会福祉法も施行され、これまでの「保護・救済」の福祉から「ノーマライゼーションと自己決定の実現をめざした利用者本位」の福祉へと、社会福祉制度の目的及び理念も大きく変化してきています。

このセミナーは、新しい世紀が制度の枠を越えて「誰もが地域で普通に」暮らせる地域福祉の時代となることをめざして、当事者のほか、実践者、政策者、研究者が一堂に会して、「自分らしい・その人らしい」地域生活支援のあり方と今後の地域福祉の方向を展望し、推進することを目的に開催します。

2. 日 時 2000年9月2日(土)～9月3日(日)

3. 会 場 9月2日(土) 仙台市青年文化センター 交流ホール

仙台市青葉区旭ヶ丘 3-27-5 TEL 022(276)2110

4. 主 催 自分らしい・その人らしい地域生活支援ネットワーク
みやぎ宅老連絡会
誰もが地域でふつうに暮らせる環境を考える会

5. 共 催 安心した生活と住みやすい地域を作る実践会議
宅老所・グループホーム全国ネットワーク
特養・老健ユニットケア研究会
全国地域生活支援ネットワーク

6. 協 力 せんだんの杜/市民・ボランティア活動応援センター

7. 後 援 宮城県・仙台市・宮城県社会福祉協議会・仙台市社会福祉協議会
(申請予定) 宮城県福祉事業団・宮城県共同募金会
河北新報社・朝日新聞社仙台支局・読売新聞社東北総局・毎日新聞社仙台支局
産経新聞社東北総局・日本経済新聞社仙台支局時事通信社仙台支社
共同通信社仙台支社・NHK仙台放送局
東北放送・仙台放送・ミヤギテレビ・東日本放送・Date FM

8. 内 容

2000年9月2日(土)

時 間	内 容
18:30~18:40	開 会
18:40~20:10	走りながら考えたナイトセッション 「自分らしい生活の支援とその人らしい生活の支援」 札幌いちご会(北海道) 会長 小山内 美智子 甲賀郡障害者就業・生活支援センター(滋賀県) 所長 北 岡 賢 剛 宮城県 知事 浅 野 史 郎

2000年9月3日(日)

時 間	内 容
10:20~12:00	パネルディスカッションI 生活支援サービス編 「在宅生活の支援サービスの実際と地域福祉の息吹」 ◇ パネラー [子育て・子育て支援] NPO法人 子育てさばーとくらぶ もとみや幼児の家(福島県) 副理事長・園長 渡 辺 洋 子 [障害者自立生活支援・家族支援] はとぼっぱ倶楽部(山形県) 代表 佐 藤 恵美子

	<p>[老人生活支援・家族介護者支援] NPO法人 生活リハビリクラブきらら（宮城県） 代表 内 海 静 子</p> <p>[子ども・障害者・高齢者・家族支援] ビーブル事業社 元気な亀さん 陽気な鶴さん（埼玉県） 代表 瀧 本 信 吉</p> <p>◇ コーディネーター 東北福祉大学 助教授 高 橋 誠 一</p>
12:00～13:00	休 憩
13:00～14:30	<p>パネルディスカッションⅡ 潤い生活支援編 「潤いのある豊かな生活づくりの視点と実際」</p> <p>◇ パネラー</p> <p>[子連れママの気晴らしマップ] AMC（アメイブ・マザーズ・コネクション）倶楽部（宮城県） 代表 伊 藤 仟佐子</p> <p>[今どきしょうがい児の母親物語] ぼれぼれくらぶ（宮城県） 代表 目 黒 久美子</p> <p>[ケア付青森ねぶた“じょっぱり隊”] 特別養護老人ホーム清風荘（青森県） 園長 長 根 祐 子</p> <p>◇ コーディネーター わかるふくしネットワーク 代表 木 原 孝 久</p>
14:50～16:20	<p>パネルディスカッションⅢ政策支援編 「市民の主体的参加で創る誰もが地域で普通に暮らせる まちづくりの実際と地域福祉の方向」</p> <p>◇ パネラー</p> <p>牛久市民福祉の会（茨城県） 事務局次長 山 本 芳 裕</p> <p>武蔵野市民社会福祉協議会（東京都） 事務局長 秦 靖 枝</p> <p>岩沼市（宮城県） 市長 井 口 経 明</p> <p>厚生省社会・援護局地域福祉課 地域福祉専門官 高 橋 真 己</p> <p>◇ コーディネーター 日本福祉大学 教授 平 野 隆 之</p>
16:20～16:30	閉 会

9. 定 員 250人

10. 参加費

・9月2日 3,000円 / 9月3日5,000円

・9月2日の参加者で9月3日も引き続き参加される方は9月3日の参加費が
3,000円（2,000円引き）となります。

・学生割引：学生証提示で割引があります、詳細は参加登録をご覧ください。

11. 申込問合せ先

自分らしい・その人らしい生活支援ネットワーク

事務局：全国コミュニティライフサポートセンター

TEL022（727）5830 FAX022（727）5831

<講師略歴>

■走りながら考えたナイトセッション

◇小山内美智子

札幌いちご会会長。1953年北海道上川郡和寒町生まれ。62年札幌琴似整肢学園入園。74年道立真駒内養護学校高等部卒業。77年札幌いちご会発足。79年スエーデン旅行。84年結婚・翌年長男出産。94年息子とスエーデン再旅行。同年、「宮城の福祉を考える100人委員会」委員になる。97年宮城大学客員講師。99年社会福祉法人アンビシャス総合施設長。全国各地で講演中。

◇北岡賢剛

甲賀郡障害者就業・生活支援センター所長。1958年福岡県生まれ。筑波大学大学院卒業。現在、社会福祉法人しがらき会信楽青年寮副寮長。日本障害者芸術文化協会事務局長。

◇浅野史郎

宮城県知事。1948年生まれ。宮城県仙台市出身。東京大学法学部卒業。厚生省に入る。87年9月厚生省障害福祉課児童家庭局課長となり、たくさんさんの仲間と出会い「障害福祉の仕事はライフワーク」と思い込む。93年宮城県知事に当選。97年再選。

■パネルディスカッションⅠ生活支援サービス編

◇渡辺洋子

NPO法人子育てさぼーとくらぶ副理事長。1999年10月保育を柱に、「子育てに悩む人を支援したい」とNPO法人子育てさぼーとくらぶ設立。NPOが運営する保育園「もとみや幼児の家」を中心に地域向けの育児相談・子育て講演会・絵本の貸し出し等の活動を展開、一時保育についても現在計画中。

◇佐藤恵美子

はとぼっぼ倶楽部代表。施設に勤務していた頃、地域に家族だけで頑張らなくていいような「手」があればと痛感。居住施設を全廃したアメリカ、ニューハンプシャー州を見て、システムさえあれば、どんなに重い障害のある人でも自分の意志で地域で自立生活ができると確信。「家族の手」となるレスパイト・送迎・タイムケアサービス等を展開、個別指導や療育相談にも応じている。

◇内海静子

NPO法人生活リハビリクラブきらら代表。1990年病院から地域へと足を踏み出した看護婦。呆けても、障害があっても住み慣れた場所で人間らしく普通に暮らしましょう！と地域に毎日通所できる民間デイサービスをオープンして4年。普通に暮らすことの困難さを利用者とその家族と共に未だ感じている。

◇瀧本信吉

元気な亀さん・陽気な鶴さん代表。1948年大分県生まれ。37歳まで波乱万丈の生活の末、「老人や有障者とその家族を、ボランティアではなく、責任をもって根底から支えるような仕事をしたい」と「ピープル福祉事業者」を起こし、天職ともいえるこの道に。

◇高橋誠一

東北福祉大学助教授。1957年北海道出身。在宅福祉・地域福祉に関心を持って、ケース(ケア)マネジメントを研究。地域福祉の重要性に至り、宅老所・グループホームを研究する。

■パネルディスカッションⅡ潤い生活支援編

◇伊藤仟佐子

AMC倶楽部代表。1955年石川県生まれ。85年創刊以来、年1回「子連れママの気晴らしマップ」を編集・発行。95年AMC倶楽部発足。30代を中心に会員100人。会員向け機関紙「お茶っこ」を年4回発行し、学校でのいじめなど共通問題について特集、意見交換などを行っている。イベントの企画、開催も活動の柱。子育て中の母親たちの仕事起こしとしても力を入れている。

◇目黒久美子

ぼれぼれくらぶ代表。1955年宮城県生まれ。ぼれぼれとは「のんびり ゆっくり」という意味と「しっかり生きる」という意味を併せ持つスワヒリ語。会のメンバーは障害児の母親。普通学級に子どもを行かせている人、特殊・養護学級へ行かせている人と、それぞれが違う立場、違う考えで構成されていることが特徴。

◇長根祐子

特別養護老人ホーム清風荘園長。ケア付き青森ねぶた“じょっぱり隊”事務局長。“じょっぱり隊”とは、閉じこもりがちな高齢者や障害者が社会のあらゆる偏見や障害に負けずに、逆に相互に支えあう心を育み、『命輝け』との願いを込め名付けられ、「私が主役、みんなが主役」を合言葉に、全国の障害者・高齢者に日本の代表的なお祭りである『青森ねぶた』に参加を呼びかける。

◇木原孝久

わかるふくしネットワーク代表。1941年東京生まれ。早稲田大学卒業。福祉施設職員、福祉・医療関係雑誌の編集記者、社会福祉法人共同募金会勤務を経て、フリーに。その間、「わかるふくしネットワーク」を主宰。20数年わたり住民流の福祉のあり方を追い求める。

■パネルディスカッションⅢ政策支援編

◇葉鏡枝

牛久市民福祉の会事務局長。1942年広島県生まれ。国際基督教大学卒業。76年牛久市に転居。家族介護の限界と地域全体で支える必要性を痛感し、92年市民ネットワーク「牛久市民福祉の会」を結成。高齢者や障害者のためのミニデイサービス・移送サービス・パソコン教室などの運営や福祉と保険・医療をつなぐコーディネーターとして働きながら、市民参加の地域づくりに取り組む。知的障害者の就労を支援する「NPO法人おおぞら」理事を兼任。

◇山本芳裕

武蔵野市民社会福祉協議会事務局次長。東京都出身。1973年武蔵野市役所入庁。財政課で5年間福祉予算の編成に携わり、98年現職場へ派遣。現在にいたる。

◇井口経明

宮城県岩沼市長。1945年生まれ。69年宮城教育大学教育学部卒業。72年25歳で岩沼市議に初当選。その後7期連続市会議員。88年岩沼市社会福祉協議会会長。93年より全国社会福祉協議会地域福祉推進委員会副委員長となる。98年岩沼市長に当選。

◇平野隆之

日本福祉大学教授1955年大阪府生まれ。大学では地域福祉論や社会福祉論を講義。寝たきりや痴呆の高齢者を介護する家族会との出会いから、ケアのあり方を研究するようになる。宅老所・グループホームの小規模ケアに関心を寄せ、日本型コミュニティケアの実践として注目している。

「自分らしい・その人らしい生活支援」全国推進セミナー参加登録について

1. 参加登録について

- ◇ 参加費としてお一人9月2日3,000円/9月3日5,000円をそれぞれ申し受けます。
- ◇ 但し、9月2・3日両日参加御希望の場合は、9月3日の参加費が3,000円(2,000円引き)となり合計参加費は6,000円となります。
- ◇ 学生割引について、参加申込書と共に学生証のコピーを送付していただきますと3,000円で9月2・3日の2日間、参加することができます。
- ◇ 参加ご希望の方は、次ページの申込書に必要事項をご記入の上、全国コミュニティライフサポートセンター宛にFAXまたは郵送でお送りください。同時に、添付の郵便振替用紙にて参加費をお振込み下さい。(振込手数料は参加者のご負担となりますのでご了承ください)
- ◇ 郵便振替番号
加入者名：全国コミュニティライフサポートセンター
口座番号：02260-9-46303 (右詰めでご記入ください)
- ◇ 申込締切は、8月25日(土)必着です。なお、参加登録は、先着順(参加費入金確認順)とさせていただきます。
- ◇ 参加費の入金を確認後、受付番号を記載したはがき(参加票)を発送いたします。
- ◇ 当日は、各自参加票をお忘れなくご持参ください。

2. 宿泊について

- ◇ 宿泊御希望の方は「JTB団体旅行東北支店」が担当しますので下記までご連絡ください。
TEL 022(296)3362/担当：安部友香里
住所：宮城県仙台市宮城野区榴岡4-6-1

3. 昼食について

- ◇ 会場周辺にたくさんの飲食店がありますので、そちらをご利用ください。

4. 会場案内図

<9月2日会場>



仙台駅から地下鉄で10分、「旭ヶ丘駅」下車
東1番出口より徒歩1分

<9月3日会場>



仙台駅下車徒歩2分

申込月日：	月	日
受付番号：		

「自分らしい・その人らしい生活支援」全国推進セミナー参加登録

申込先：全国コミュニティライフサポートセンター東日本本部（CLC）

TEL 022（727）5830 FAX 022（727）5831

〒981-0942 宮城県仙台市青葉区貝ヶ森2-6-4

申込者氏名（代表者名）	様		都道府県名
参加票送付先住所	〒		
送付先 TEL/FAX	TEL（ ） -	FAX（ ） -	
勤務先名			
勤務先 TEL/FAX	TEL（ ） -	FAX（ ） -	

◆複数でご参加の場合は、全員の名前をご記入下さい。

参加者氏名		所属部署名	年 齢	9月2日 参加費	9月3日 参加費	合計金額
		職 名	男 女			
	せんだいたろう	福祉課	38才	○	○	6,000 円
例	仙台 太郎	課長代理	男 女	3,000 円	5,000 円	
1			才			
			男 女	3,000 円	5,000 円	
2			才			
			男 女	3,000 円	5,000 円	
3			才			
			男 女	3,000 円	5,000 円	
4			才			
			男 女	3,000 円	5,000 円	
5			才			
			男 女	3000 円	5,000 円	
合 計				円	円	円

◆ 添付の郵便振替用紙にて参加費をお振込み下さい。入金確認後、参加票を送付いたします。
(振込手数料は参加者のご負担となりますのでご了承ください。)